

子どもたちに渡そう！コロナ禍乗り越え、
核の脅威も気候危機もない安全な地球を！

1975→2021

非核「神戸方式」決議 46周年記念のつどい

記念講演



鈴木 達治郎さん

(長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長、教授)

「核兵器禁止条約が発効
—核兵器のない世界への
道を拓く」(仮題)

核兵器禁止条約が発効し国際法となりました。核兵器は違法な存在になり、核兵器の保有、使用、威嚇などは国際法に違反することになります。アメリカの「核の傘」のもとにある日本政府を禁止条約に参加させることはできるのか—非核・平和の日本とアジアへの道筋をご一緒に考えましょう。

2021年

3月18日 木

14時～16時予定
(13時30分受付開始)

オンライン(Zoom)で
開催します

参加費:1,000円



主催／非核「神戸方式」決議記念集会実行委員会 協賛／非核の政府を求める兵庫の会 後援／神戸市・神戸市教育委員会

(事務局団体) 神戸港湾共闘会議、新日本婦人の会兵庫県本部、兵庫県原水協

神戸市中央区古湊通2丁目2-10 ©TEL:078-341-2818 ©FAX:078-371-2427 ©Eメール:hikakukobe@yahoo.co.jp

核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議

神戸港は、その入港船舶数及び取扱い貨物量からみても、世界の代表的な国際商業貿易港である。利用するものにとっては使いやすい港、働く人にとっては働きやすい港として発展しつつある神戸港は、同時に市民に親しまれる平和な港でなければならない。

この港に核兵器が持ち込まれることがあったら、港湾機能の阻害はもとより、市民の不安と混乱は想像に難くないものがある。

よって神戸市会は核兵器を搭載した艦艇の神戸港入港を一切拒否するものである。

1975年3月18日

神戸市会

講師紹介



鈴木 達治郎(すずき たつじろう)

＝長崎大学核兵器廃絶研究センター 副センター長・教授

1951年生まれ。工学博士(東京大学)。専門は原子力政策、科学技術社会論。2010年1月より2014年3月まで内閣府原子力委員会委員長代理。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団パグウォッシュ会議評議員。2019年より日本軍縮学会会長。主要著書に『核兵器と原発』(講談社現代新書、2017年)。共著『核の脅威にどう対処すべきか:北東アジアの非核化と安全保障』(法律文化社、2018年)、『こんなに恐ろしい核兵器①②』(ゆまに書房、2018年)。

非核「神戸方式」決議46周年記念のつどい オンライン参加申し込み方法



●メール 本文に【お名前】と【電話番号】を必ず明記してください。



●FAX 下記の申込書に記入して送信してください。

※申込者に対して参加のアドレスをお送りします。(ZOOM使用)

- 参加費:登録メールアドレス1件につき1,000円。
- 個人または集団視聴ごとに申し込んでください。
- FAXでの申し込みは必ずメールアドレスを明記してください。
- 希望者に「録画」(YouTube、DVD)を提供します。1,000円(県原水協に納めてください)

オンラインができない 方のために「共同視聴 会場」を設けます。

【会場】
こうべまちづくり会館
(事前申込が必要です)
※先着45名まで

【申し込み方法】
下記の申込書に記入して
FAXで送信してください。

非核「神戸方式」決議46周年記念のつどい参加申込書

	○印	お名前	電話番号	メールアドレス
会場参加				
ZOOM参加				

■参加申込送信先・連絡先/兵庫県原水協へお申し込み下さい。

*FAX:078-371-2427 *メール:hikakukobe@yahoo.co.jp

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は被爆者の訴えに賛同して署名します。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。